

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成23年7月25日（月）～7月31日（日）〔平成23年第30週〕の感染症発生状況

第30週で定点報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)ヘルパンギーナ 3)感染性胃腸炎でした。

手足口病は定点当たり16.47人と前週（15.34）より患者報告数はさらに増加し、過去最多の患者報告数を4週連続で更新し続けています（警報基準値は定点当たり5人）。区別では特に幸区で多く、定点当たり23.50人と高いレベルとなっています。

ヘルパンギーナは定点当たり7.06人と前週（5.84）より患者報告数は増加し、警報基準値（定点当たり6人）を上回りました。手足口病と同様に今後の発生動向に注目する必要があります。※前週の本ページ中「ヘルパンギーナ発生状況（3年間）」のグラフについて、平成22年のグラフが欠落していたことをお詫び申し上げます。

また

手足口病が過去最多の報告数を更新しました！！

川崎市内では、下のグラフのとおり、手足口病の患者報告数が増加し続けています。

全国的には、第29週の報告が減少傾向にあることから、本市の報告も今後減少傾向に切り替わることが推測されますが、引き続き予防対策の徹底などの注意が必要です。

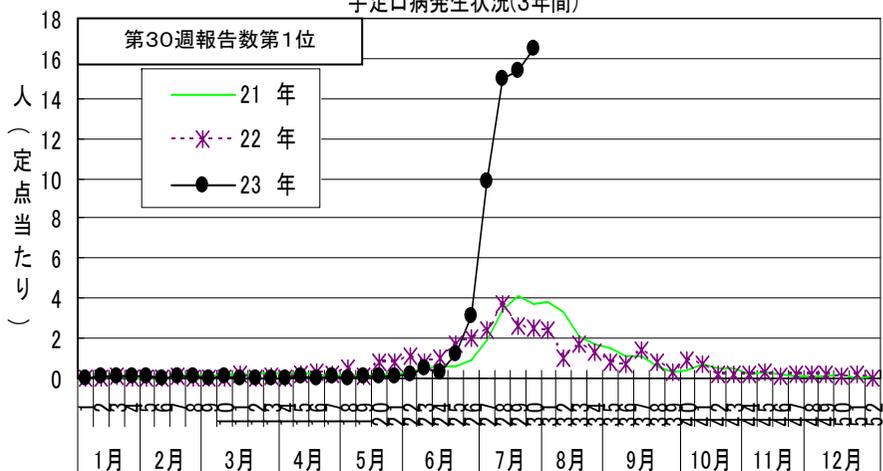
気をつけたいこと

手足口病は口からの飛沫、便及び水疱内容物などから感染します。一般的な感染対策は、手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。

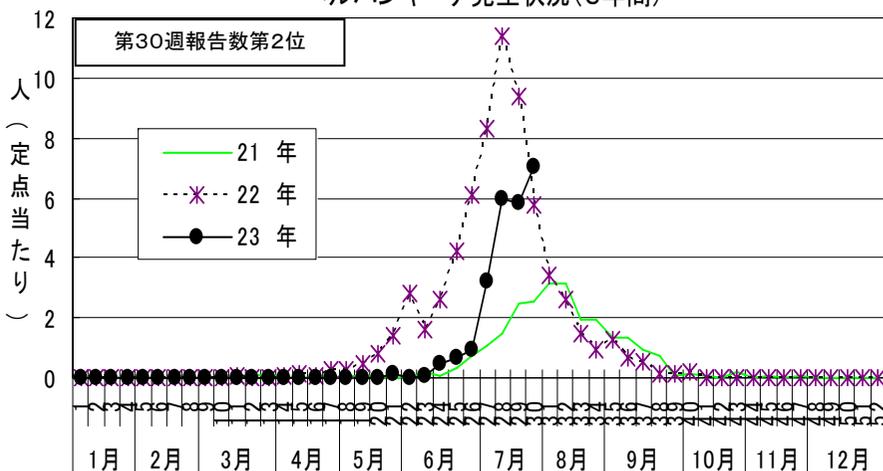
特に、保育施設などでの乳幼児の集団生活では、職員と子どもが、よく手洗いをすることが大切です。おむつ交換の後には、流水と石けんで十分に手洗いをしてください。

また、症状がなくなった後も1ヶ月程度便の中にウイルスが含まれていることがありますので注意してください。

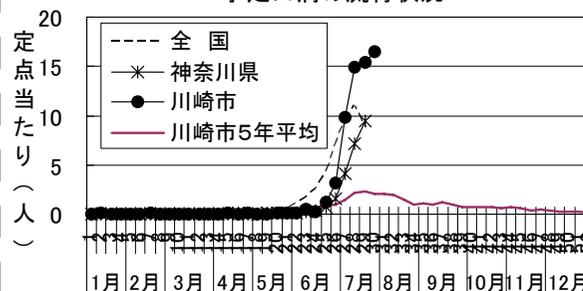
手足口病発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



手足口病の流行状況



感染症情報のメール配信をしています！

概要

メール配信サービスに登録していただいた方に、定期的（原則毎週水曜日）に、最新の「今、何の病気が流行しているか！」と「市内感染症情報」のPDFファイルを、登録いただいたメールアドレスへ配信します。※パソコン向けサービスで、携帯電話では御利用できません。

登録方法

登録方法については、次のURLにアクセスしてください。
<http://www.city.kawasaki.jp/e-news/info2994/index.html>



発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター（保健所）
 （問い合わせ先） 044-200-2412